

2号隊舎消火ポンプ移報線改修工事

工事名	2号隊舎消火ポンプ移報線改修工事	図面番	1/8
図名	表紙	縮尺	—
	陸上自衛隊小倉駐屯地業務課		令和4年12月15日

特記仕様書

1 工事件名
2 号機舎消火ポンプ移設改修工事

2 工事場所
福岡県北九州市小倉南区北方5丁目1番1号 陸上自衛隊 小倉駐屯地

- 3 工事概要
- 1 式 屋内隠ぺい配線工事
 - 1 式 屋外露出配線工事
 - 3ヶ所 はつり工事
 - 1 式 移設及び表示灯機能試験・調整
 - 1 式 付帯工事

4 一般事項

- (1) 本工事は、本社仕様書によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築（改修）工事標準仕様書（電気設備改修工事編）」（機械設備編）、「メーカー仕様並びに関係法規によるものとする。
- (2) 受注者は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「建設業法」に基づき、施工体制台帳の作成等について、法令を遵守するものとする。
- (3) 着工前に必ず現地に監督官と打合せをするものとする。
- (4) 本工事の写真は、着工前、主要な作業状況、竣工後及び監督官の指示する箇所を撮影するとともに、工事後隠蔽となる部分は写真写真管理を実施するものとする。工事完了後、A4判工事写真機に整理して一部監督官に提出するものとする。
- (5) 本社仕様書等に記載なき事項といえども、技術上当然施工すべき事項については、受注者の負担において実施するものとする。
- (6) 工事は他の施設に損傷を与えないよう十分注意して実施すること。万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状に復旧するものとする。
- (7) 本社仕様書及び工事仕様、疑義を生じた場合は、監督官と協議のうえ実施するものとする。
- (8) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け、合格したものを使用する。
- (9) 本工事にあたりは、火災予防、安全管理に十分留意するものとする。
- (10) 本工事で発生した発生材のうち、監督官が指示する数量等については、種別毎に整理したうえ指定場所へ搬入し、所定の調査を添えて工務課に引き継ぐものとする。その他の発生材については受注者の責任において全て構外へ搬出、関係法令等に従い適正に処分し、マニュアル（E表）の写しを提出するものとする。
- (11) 本工事に必要な電力及び給水等は賅給しないものとし、電費は発電機、給水は水タンクの搬入を基本とする。ただし、前記要領で使用できない場合は官備と調整し、メーター等を取付け使用量に応じた料金の支払いにより使用できる。
- (12) 作業終了時は、現場の清掃及び片付けを実施するものとする。

5 特記事項

(1) 本工事において使用する材料は下表のとおりとし、承認図及び出荷証明書と監督官に提出するものとする。

品名	規格	品名	規格
制御用ケーブル	EM-CEE 2mm 10C JIS C 3401	再生砕石	RC-40 JIS A 5001
鋼製電線管	G-28 JIS C 8305	再生粒度調整砕石	RM-30 JIS A 5001
電線貫通管	HP-30-1	アスファルト混合物	再生粒度調整アスファルト混合物 (13)
波付硬質合成樹脂管	TLK-30	乳剤	プライムコート PK-3
プルボックス	250×250×200 SJIS WP		
合成樹脂可とう電線管	PFI6 JIS C 8411		

(2) 仮設工事

運送を要する際、カラーコーン等による仮囲いを設置するものとする。

(3) 土工

ア 掘削は、特に指定のない限り、地形の隆起及び現場の状況により安全に掘り下げるものとする。

イ 掘削は、既設の埋設物を損傷させないように十分注意して実施するものとする。

ウ 掘削所の湧水等は、排水ポンプ等により排除するものとする。

エ 埋設物の際、線量の不足とならないように入念に実施するものとする。

(4) 電気設備工事

ア 天井裏を配線する場合は、隠天全ねじボルト等に固定する。

イ 配管が天井を立上げ等で貫通する際は、最小限の貫通穴とし、天井ボード等は再利用する。

ウ ボックスにケーブルを引き込む際は、シーリング材を用い防水すること。

エ 配線工事等の撤去後の清掃は、隣間にモルタル等を充填する。

ケ 火災報知器に配線を接続する際は、メーカー指定の取り付け方とする。

(5) はつり工事

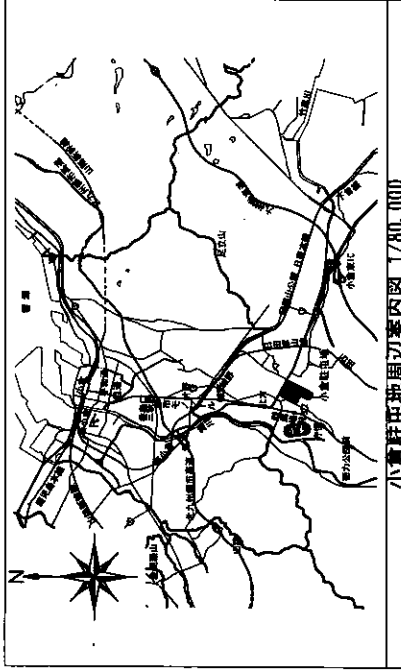
ア 設置の真直箇所は、ダイヤモンダクター等を利用し、他の部位に損傷を与えないよう十分に注意して行う。

イ 配管施工完了後、耐火モルタル等を充填する。

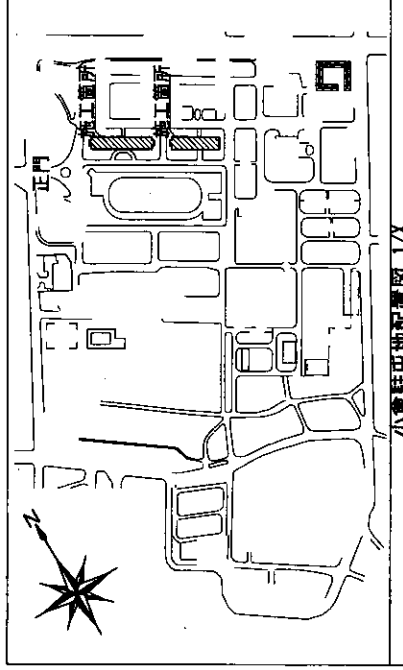
(6) その他

ア ケーブル敷設完了後、1号機舎及び2号機舎の自動火災報知機の移設機能試験を実施し、正常に機能することを確認する。

イ 消火栓表示灯が正常に点灯していることを確認する。

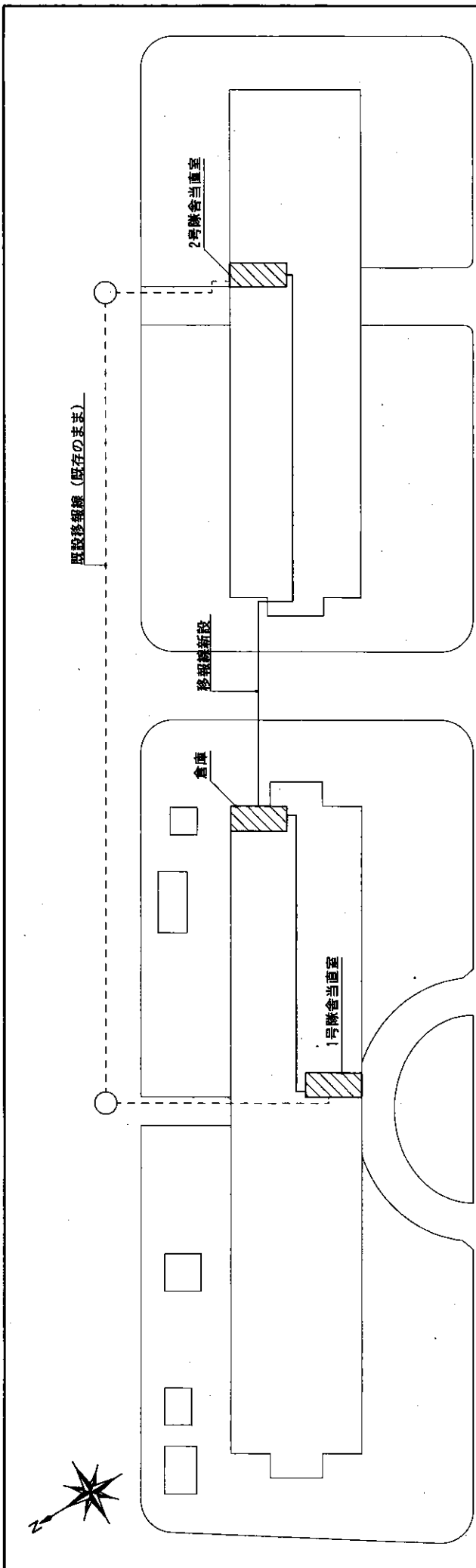


小倉駐屯地周辺要図 1/780,000

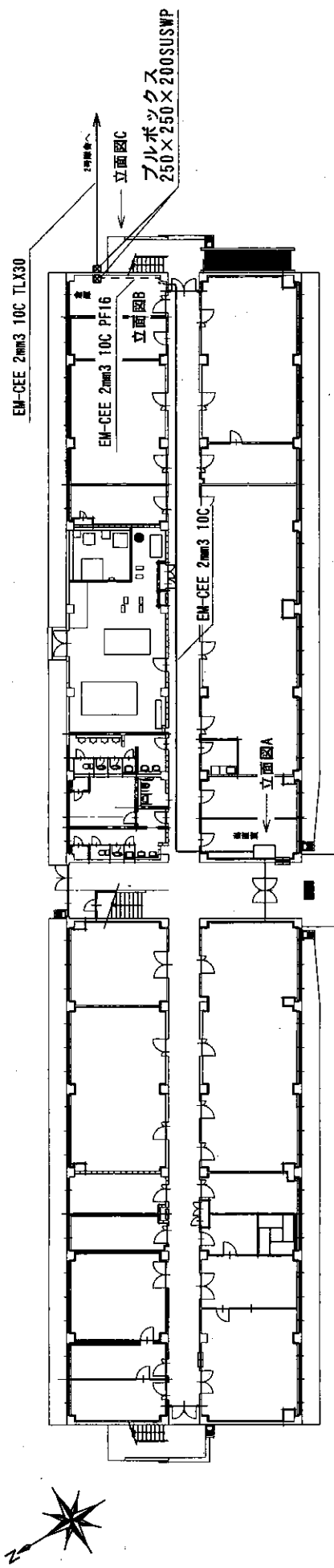


小倉駐屯地配置図 1/78

工番号	2号機舎消火ポンプ移設改修工事	図面番号	2/8
図名	仕様書・案内図・配置図・平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地業務課		令和4年12月15日	

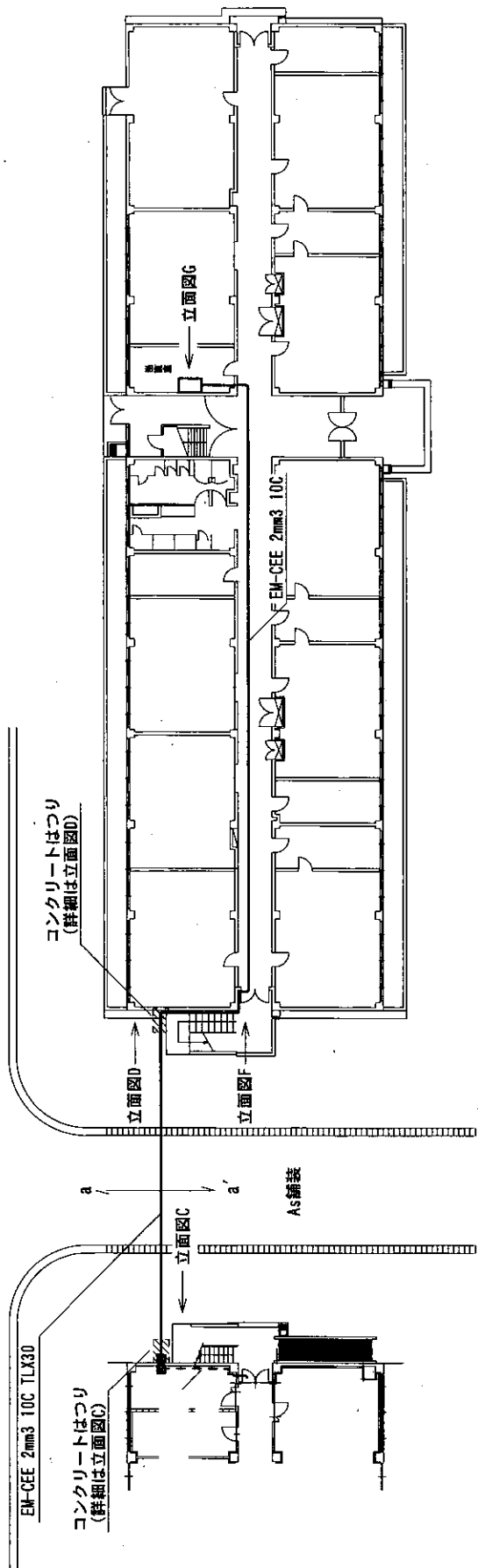


詳細配置図 1:500

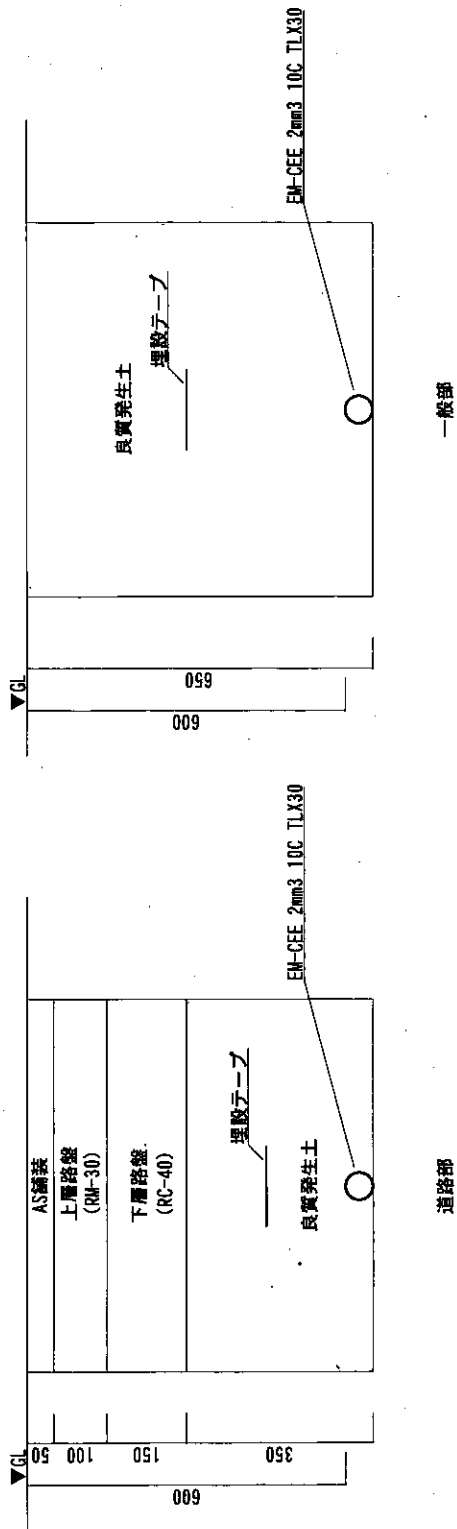


1号隊舎平面図 1:300

工事名	2号隊舎消火ポンプ移転線改修工事	図面番号	3/6
図名	詳細配置図・1号隊舎平面図	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地集積隊		発行日	令和4年12月15日

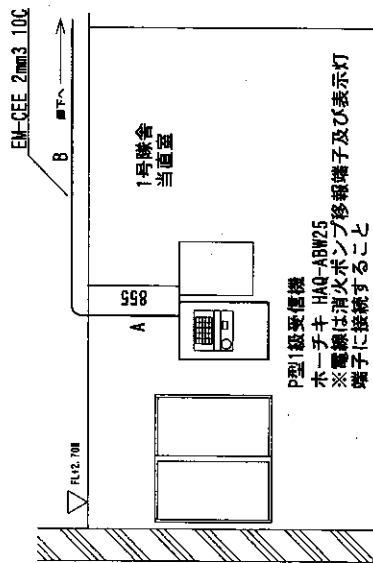


2号機舎平面図 S=1/300



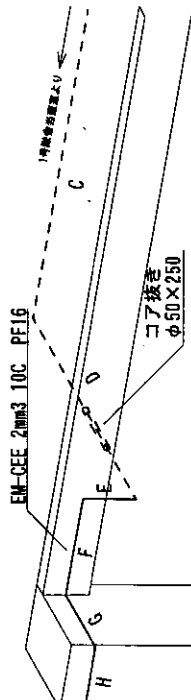
a-a' 断面図 S=1/10

工事名	2号機舎消火ポンプ移設機改修工事	図面番号	4/8
図名	2号機舎平面図・a-a'断面図	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊		令和4年12月15日	



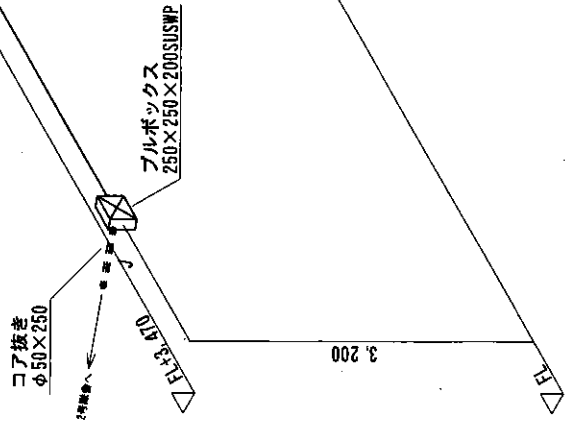
※配線寸法は記号で表し、詳細は「配線図」記載による

1号隊舎廊下



立面図A (1号隊舎当直室) S=1/50

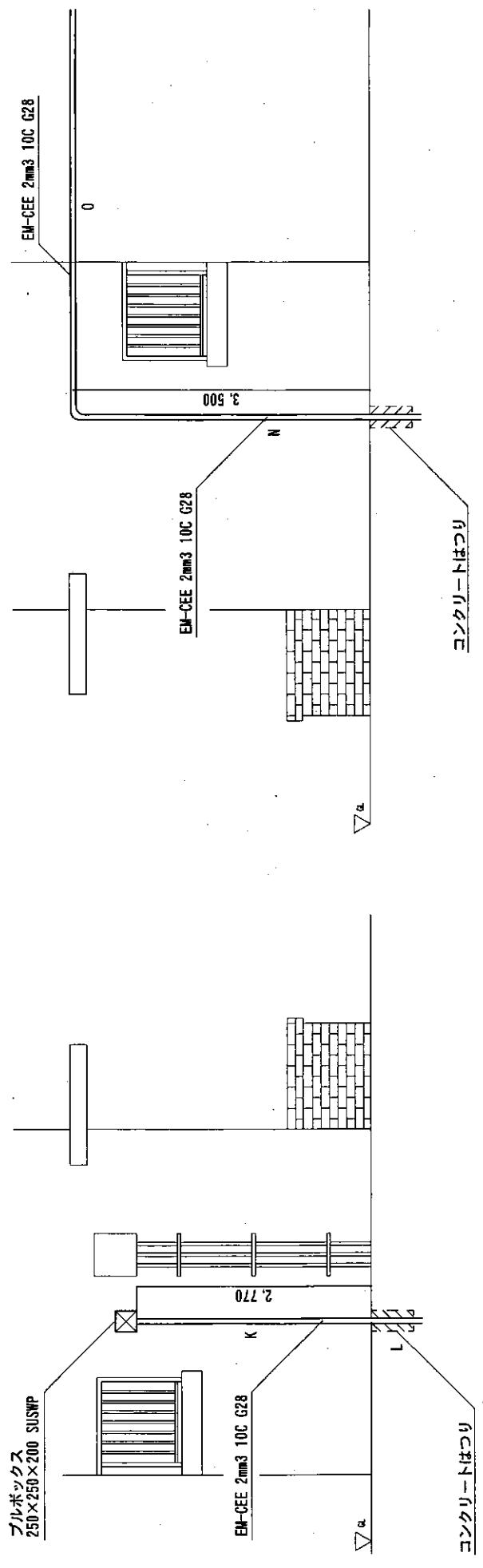
屋外



1号隊舎倉庫

立面図B (1号隊舎東側) S=1/50

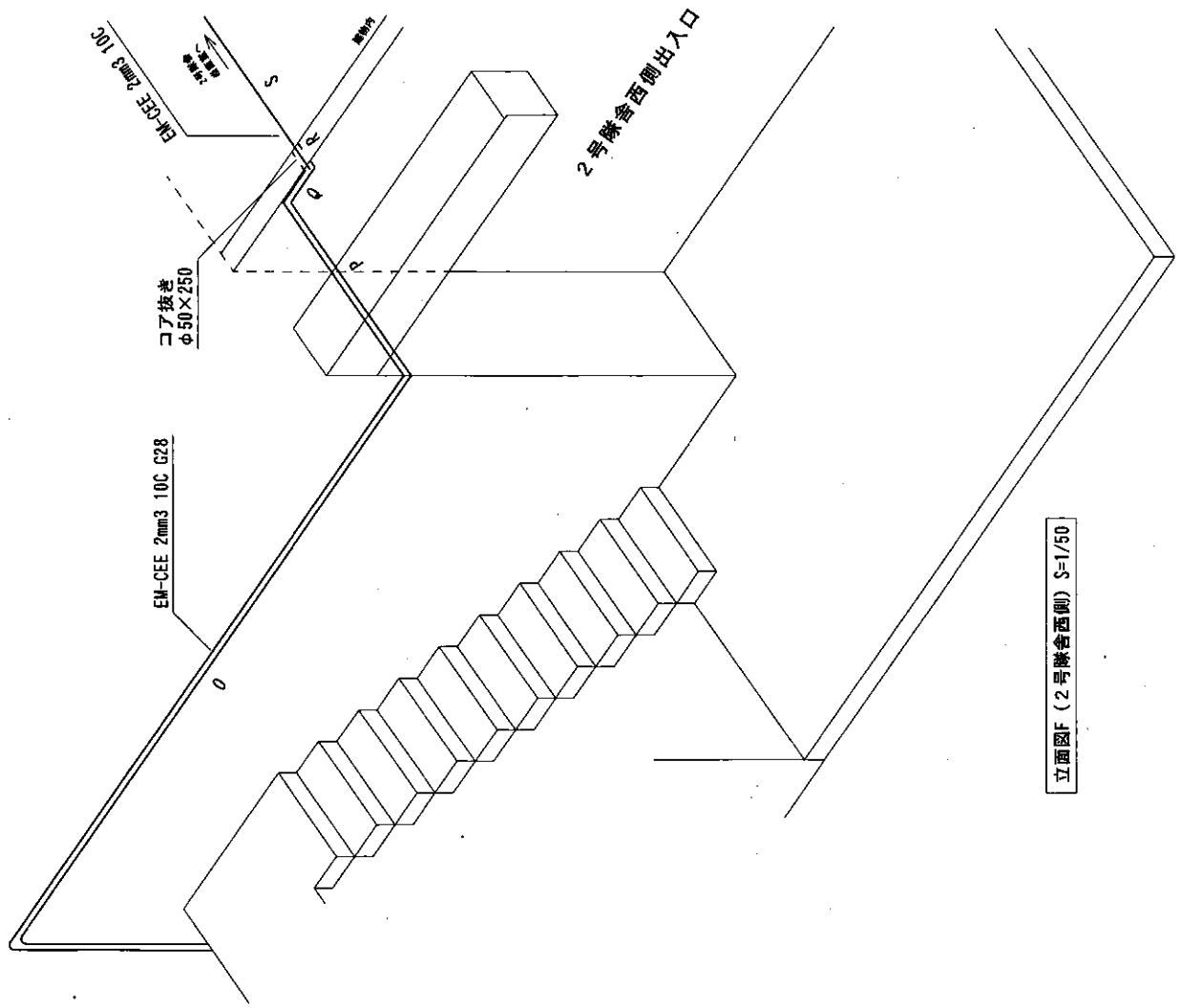
工事名	2号隊舎消火ポンプ移線改修工事	図面番号	5/8
図名	立面図A、立面図B	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊		令和4年12月15日	



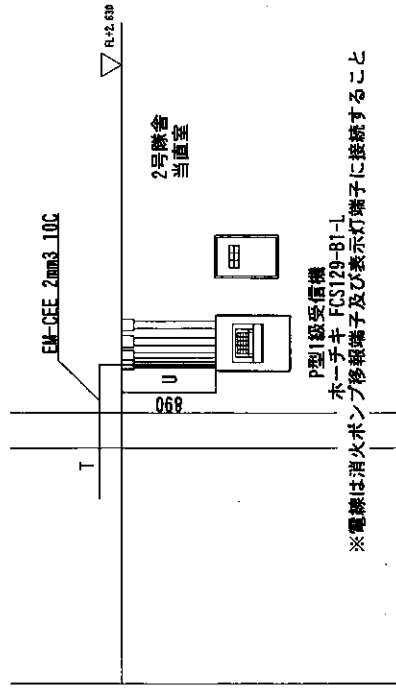
立面図C (1号機舎東側) S=1/50

立面図D (2号機舎西側) S=1/50

工事名	2号機舎消火ポンプ移設改修工事	図面番号	6/8
図名	立面図C、立面図D	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊		令和4年12月15日	

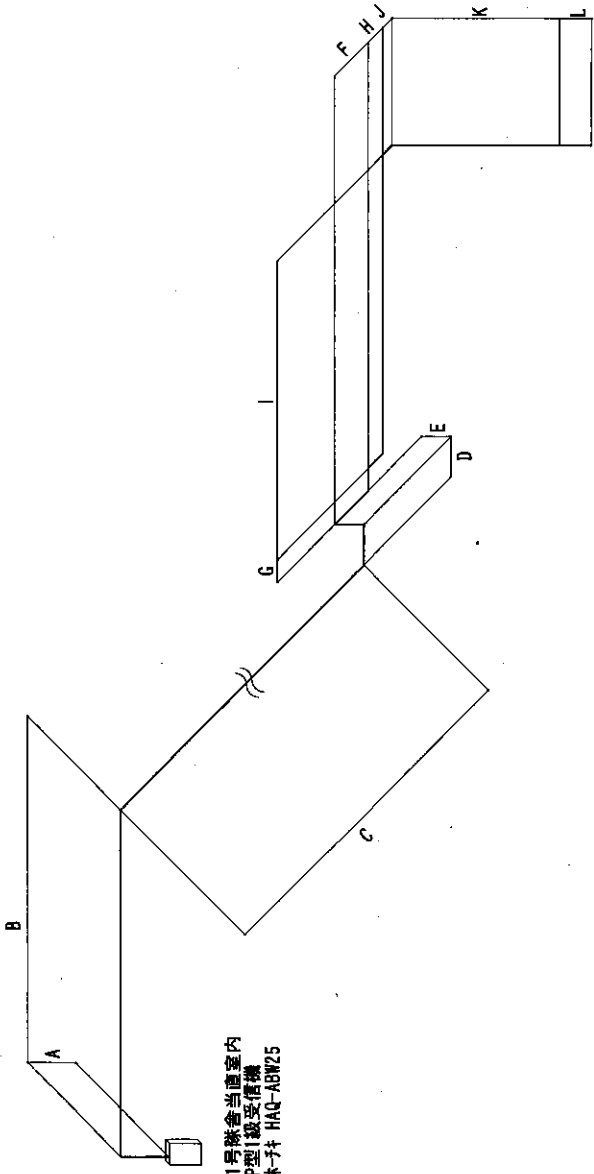


立面図F (2号機舎西側) S=1/50



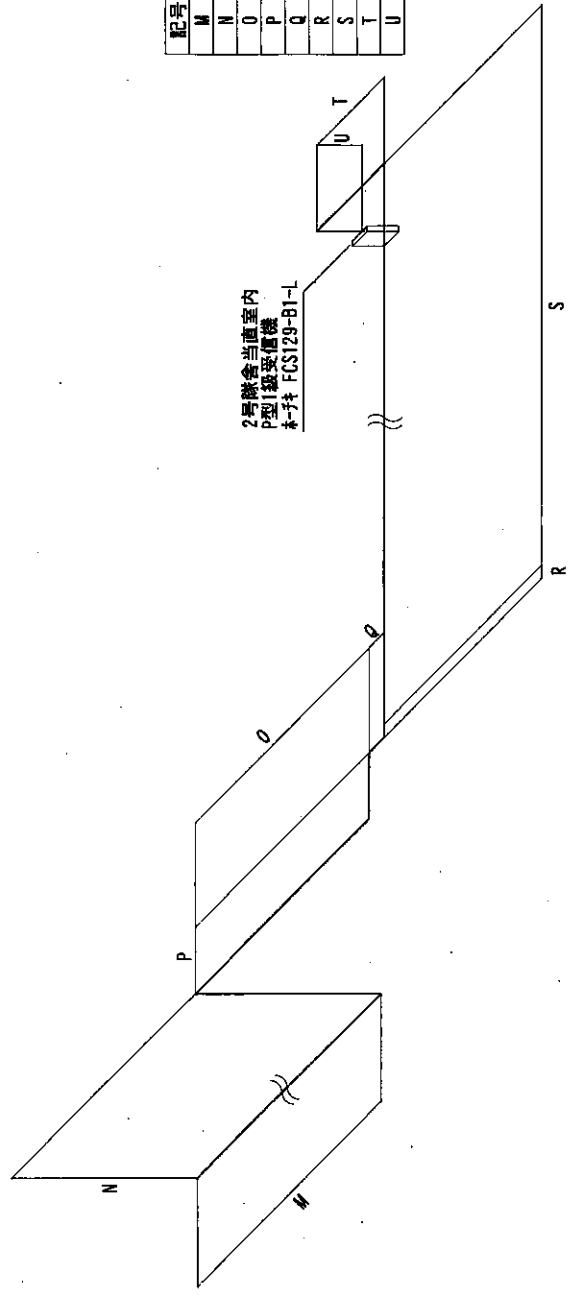
立面図G (2号機舎当直室) S=1/50

工事名	2号機舎消火ポンプ移相線改修工事	図面番号	7/8
図名	立面図F、立面図G	縮尺	図示
陸上自衛隊小倉駐屯地業務隊		令和4年12月15日	



1号機舎当直室内
P型1級受信機
ホ-子 HAQ-ABW25

記号	寸法 (mm)	場 所	配線及び電線管
A	900	1号機舎当直室立ち上がり	EM-CEE 2mm3 10C
B	6,500	1号機舎当直室天井内	"
C	37,000	1号機舎廊下天井内	"
D	750	1号機舎廊下から1号機舎直室内 (コア抜き抜き)	"
E	550	1号機舎倉庫立ち上がり	EM-CEE 2mm3 10C PF16
F	900	1号機舎倉庫内	"
G	420	1号機舎倉庫柱間①	"
H	390	1号機舎倉庫柱間②	"
I	5,580	1号機舎倉庫内	"
J	250	1号機舎倉庫から外部にコア抜き	EM-CEE 2mm3 10C
K	3,160	1号機舎外壁下り	EM-CEE 2mm3 10C G28
L	600	1号機舎埋設	"



2号機舎当直室内
P型1級受信機
ホ-子 FCS129-B1-L

記号	寸法 (mm)	場 所	配線及び電線管
M	22,650	1号機舎から2号機舎埋設	EM-CEE 2mm3 10C G28
N	3,500	2号機舎外壁立ち上がり	"
O	4,630	2号機舎外壁①	"
P	1,240	2号機舎外壁②	"
Q	400	2号機舎外壁③	"
R	250	2号機舎外壁から廊下コア抜き	"
S	39,000	2号機舎廊下天井内	EM-CEE 2mm3 10C
T	1,800	廊下から2号機舎当直室天井内	"
U	900	2号機舎当直室下り	"

工事名	2号機舎消火ポンプ移設改修工事	図面番号	8/8
図名	配線図	縮尺	図示
製上自衛隊小倉駐屯地業務隊		令和4年12月15日	